

參考資料

環境センター周辺開発ワークショップ

第1回報告書

平成 23 年 8 月 21 日(日) 19:00~21:00
開催場所：野口会館 32名出席

今回のテーマ

全体会議～ワークショップの進め方を検討しよう！～

1. あいさつ等
2. これまでの検討経緯を確認しよう！
3. ミニ勉強会の開催①！
4. ミニ勉強会の開催②！
5. 今後の進め方を確認しよう！
6. 閉会

あいさつ等

今回は、今後のワークショップの進め方をテーマとしたいと思います。
多くの人に喜んでいただけるような施設を、皆様と市とAJUさんとで創り上げていきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。 【仲根課長】



このワークショップでは、以前提出した要望について検討しながら、野口地区のまちづくりのためにどんどん意見を出していただき、利用しやすい施設の整備を行いたいと思います。旧老人ホーム跡地を基盤とした周辺整備によりまちづくりを考えていきたいと思っています。

【松浦区長】



7月17日に野口会館の改修についてのワークショップを開催しました。それについては、現在市の方に整理をしていただいています。今回は、環境センター周辺開発についてのワークショップです。以前多くの要望が出たため、今回ワークショップを開くこととなりました。ワイナリー主体ではなく、この地域を地元市民が集えるようなまちづくりを行うことが目的であり、そういう意見を出していただき実りあるワークショップとしたいと思います。 【鶴飼委員長】

これまでの検討経緯を確認しよう！

※市から要望事項とそれに対する市の回答のおさらい、これまでの市の取組状況・検討経緯について説明を行いました。



ミニ勉強会の開催①！

※コンサルタント（IDEC）から開発にあたっての前提条件となる開発許可制度の概要や法規制状況等について説明を行いました。

◎ミニ勉強会①についての質疑応答

【質問】野口の郷を旧老人ホーム跡地に移す場合、面積が既存施設と同じでないといけないのはなぜか。

【答え】市街化調整区域に社会福祉施設は開発可能ですが、面積が3,000㎡を超えると愛知県の開発審査会にかけないといけません。その際、あえて社会福祉施設を移転する理由が必要となるのですが、今回の場合非常にハードルが高く、開発許可が難しいと考えます。しかし、3,000㎡以下であれば、小牧市の開発審査となります。こちらですと、地元等の要望ということで許可が下りる可能性がある為、3,000㎡以下での移転を考えています。

ミニ勉強会の開催②！

※A J U担当者からA J U開発計画の概要等について説明を行いました。



◎ミニ勉強会②についての質疑応答

【質問】多治見の修道院の見学はどういう手続をとればいいのか。

【答え】9月中旬をめぐりに、バスを手配してワイナリーを含めた先進地の見学を行いたいと考えています。(市)

11月3日に収穫祭を行います。入場料として3,000円かかりますが、ワインを1本プレゼントさせていただきますので、是非その時に見学に来ていただくと楽しんでいただけるかと思います。(AJU担当者)

【質問】小牧市の観光客数が190万人という数字はどこから出てきているのか。

【答え】出展は、愛知県観光統計平成20年度版です。統計書に掲載されている公共的な施設に限られており、商業施設等の客数は含まれていません。(AJU担当者)

【質問】ワイナリーの建設は市が行うのか。AJUさん独自でされるのか。

【答え】建物は国の福祉施設建設の補助金と自己資金でAJUが建設します。(AJU担当者)

【質問】ワインは手作りしていると聞いたが、機械は使わないのか。付近に民家もあるので、振動などはしないか。

【答え】現在はほぼ手作りです。ぶどうの破碎機、搾絞機、タンクなどあるが近代的な機械はありません。今後建設予定の施設では、近代化していきたいと思っておりますが、まだ決まっています。騒音に関してですが、大きな音を出す機械はありません。(AJU担当者)

【質問】ぶどう畑は環境センターの風下に位置する。有害物質等については大丈夫か。

【答え】タンクの中で密閉して集荷するので、化学物質が混入したりすることはないと思います。それについては最大限配慮します。ぶどう自体の汚染については、勉強させていただきます。(AJU担当者)

環境センターについては、環境影響評価を行い、県の審議会等を通して環境に問題ないという結果が出ています。焼却施設についても、現在よりクリーンな排ガスとするものを予定していますのでご理解をお願いします。(環境センター)

【質問】どれぐらいのぶどう畑の面積で作れば、予定しているワインの量を供給できるのか。

【答え】最終的には、年間20万本生産できるような仕組みを作りたいと考えています。そのため、将来的には農地を10~15haぐらいに広げていきたいと思っております。現在不足分については、信濃の農家から購入しています。また、うちのワインだけでなく世界の修道院からワインを輸入し販売する計画です。小牧のワインと世界の修道院のワインを楽しめるような施設にしたいと考えています。(AJU担当者)



今後の進め方を検討しよう！

※市から今後のワークショップの進め方について説明を行いました。

第2回ワークショップでは、市の案をたたき台として提示します。それを元にそれぞれの施設やエリアごとにグループに分かれて議論を行い、全体でこの地域一帯の計画をまとめていく方法を予定しています。 【市】



◎今後の進め方についての意見・質疑応答

【参加者】グループ分けをどう行うのか。

【市】参加者38名全員で議論を行うのは大変なので、核になる施設等について部会分けを行います。グループ分けについては、次回お示ししたいと思います。

【参加者】部会別にした場合、日程はどうなるのか。

【市】各部会の対象施設により、1回でまとまらない場合もあるかと思いますが、その場合、個々に集まっていただく必要があるかと思います。

【参加者】部会ごとに分けると話がずれていくかも知れないので、全体でやった方がいいのでは。

【IDEC】ワークショップでは、まず、グループで議論対象とするエリアや施設を絞り、それについて議論していただき、他のグループとの齟齬があたりしてはいけませんので、最後に全体でグループごとに出た意見を発表しあい、意見を述べる場を設けてはどうでしょうか。そうすれば、他のグループの意見もわかりますし、意見をすり合わせ齟齬のない全体計画が出来るかと思います。

【参加者】その進め方のように、最後にまとめを行う方法でいいのではないか。区長や市の方で話し合ってください、決めていったらどうか。

【市】ワークショップの進め方については、区長さん等と協議し決めさせていただきます。

次回開催予定

日時：平成23年10月23日（日）
午後7時～

場所：野口会館

※9月21日に周辺開発先進地施設

（問い合わせ先・発行）

小牧市環境交通部廃棄物対策課

0568-76-1187

e-mail:haitai@city.komaki.lg.jp

環境センター周辺開発ワークショップ 第2回報告書

平成 23 年 10 月 23 日(日) 19:00~21:00
開催場所：野口会館 参加者 23 人

今回のテーマ

～土地利用ゾーニング（配置）案を検討しよう！～

1. あいさつ等
2. 検討にあたっての前提条件の説明！
3. 土地利用ゾーニング（配置）案を検討しよう！
4. 野口の郷の導入機能について検討しよう！
5. 各グループでの議論の内容を聞いてみよう！
6. 閉会

あいさつ等



環境センター周辺開発は、平成 30 年を目途に北側は民間開発を含めて開発を検討していきます。今回は、第 2 回ワークショップということで、各テーブルに別れていただき、旧老人ホーム付近での、児童遊園や交流広場、誘致する福祉施設のゾーニングを中心にご議論をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。 【仲根課長】



8 月のワークショップでは、勉強会を行いました。今回は、配置案をもとに地元の要望を取り込んでいくために思いついたことを何でも出していただき、最後に 1 グループづつまとめを行いたいと思います。皆様と一緒によりよい環境センター周辺開発を考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。 【松浦区長】



9 月に先進地視察を行う予定でしたが、台風により 11 月 17 日に延期となりました。今回のワークショップで、ゾーン分けについて意見を出していただき、次のワークショップでは、来月視察する先進地と比較し議論を行うことになると思います。ご協力お願いいたします。 【鵜飼委員長】

検討にあたっての前提条件の説明！

※土地利用配置や「野口の郷」の機能拡大の考え方、開発条件等について、市から説明を行いました。
また、AJU から北側農地ゾーンにおける地元とのコラボレーション（協働活用）について説明を行いました。



土地利用ゾーニング（配置）案を検討しよう！ 野口の郷の導入機能について検討しよう！

※A～E グループに別れて、土地利用ゾーニングや道路配置、「野口の郷」の導入機能について検討しました。



各グループでの議論の内容を聞いてみよう！

※各グループの代表者の方から、議論の結果を発表していただきました。

◎A グループ



現在の野口の郷は、眺めが良かったので、下に降りてきて木を切るなどして、眺望を確保してほしいと思います。

また、AJUさんがどの程度の機械を使用されるのかわかりませんが、民家側に近くなりすぎて、騒音等地域の人に迷惑になるようなことは避けていただきたいと思います。桜並木などを眼隠しとして活用し、南側の角地を有効利用するという意見が出ました。

子どもの遊び場についてはは遊具を設置し、この一帯が大人から子どもまで楽しめるようにするという意見がでました。

北側のエリアについてですが、野口地区はグランドゴルフが盛んなので、グランドゴルフのコースを整備し、池の周辺にも歩行者や自転車が通れるような道を整備するという意見が出ました。

野口の郷の機能については、検診が出来る医療施設の設置やトレーニング室の充実、お風呂を大きくするといった意見がでました。

◎B グループ



勾配の大きい土地なので、雨水対策をしっかりしてほしいと思います。ぶどう畑の斜面から下に流れてくる水が非常に心配です。

新しい道路の勾配が急な気がしますし、南側に抜ける道路は狭いので、大変ではないかという心配があります。ワイナリーに1日400人来ると計算すると、今の道路の計画で本当によいのでしょうか。北側の道路は、愛厚ホームの北側が少し下がっているなので、そこから取り付けた方勾配が緩やかになっていいのではないのでしょうか。

野口の郷の位置についてですが、眺めを確保するために、交流広場の方に持ってくるという意見が出ました。広場を挟んでワイナリーと向かい合う方がいいのではないのでしょうか。

野口の郷の機能については、運動器具の充実、2階に展望風呂をつくるという意見が出ました。

◎C グループ



まず、野口の郷を移動する必要があるのかという意見が出ました。現在の野口の郷の位置で、機能を充実させるのでいいという意見です。野口の郷を下に降りてくる根拠はどこにあるのでしょうか。現在の位置で、1～2年休止し、新規にスタートさせてはどうでしょうか。移設する場合、ワイナリーの建設から5～6年先となるなら、現在の施設を新しくしてほしいです。新しい野口の郷は、子どもと老人がより交流できる施設としてほしいと思います。

ワイナリーにお客さんがたくさん来ると、交通問題が出てくると思います。交通対策をしっかりしてもらい、きちんと歩道を整備してほしいと思います。

◎D グループ



この計画案だと、ワイナリーのぶどう畑で障害者の方が作業するとなると、道路を横切らないといけないので、交流広場に近いところにワイナリーを持ってきた方がいいのではないのでしょうか。また、駐車場の足りないのではないかという意見も出ました。温水プールの駐車場を使うという意見も出ました。この計画案の道路だと傾斜があるため、不安だという意見も出ました。

野口の郷の導入機能については、食事が出来るところやスポーツジム、足湯、足つぼ歩行ができる道の設置、竹トンボ教室の開催という意見が出ました。

◎E グループ



計画案の交流広場がある方に野口の郷を持ってきて、野口の郷と交流広場を南側に固め、駐車場を一か所に集約してはどうでしょうか。駐車場は足りなければ、温水プールの第2駐車場を利用し、そこから歩いてワイナリーや野口の郷に下りてこられるよう、スロープをぶどう畑縁辺部につくるといった案が出ました。

交流広場に、ちょっとした売店や足湯、バーベキュー施設があるといいという意見が出ました。

野口の郷の導入機能については、エレベーターを設置するという意見や、集会場を広くする、足湯を設置する、広い浴室やサウナがあるといいという意見が出ました。

事務連絡

9月に行う実施する予定でした先進地視察を11月17日（木）に改めて実施することになりましたので、皆様、是非ご参加ください。

次回開催予定

日時：平成23年11月27日（日）

午後7時～

場所：野口会館

※11月17日に周辺開発先進地施設を予定

（問い合わせ先・発行）

小牧市環境交通部廃棄物対策課

0568-76-1187

e-mail: haitai@city.komaki.lg.jp

環境センター周辺開発ワークショップ

第3回報告書

平成 23 年 11 月 27 日(日) 19:00~21:00
開催場所：野口会館 2 階大会議室 25 名出席

今回のテーマ

～土地利用ゾーニング（配置）案を検討しよう！（その2）～

1. あいさつ等
2. 第2回のワークショップで出された意見等への対応について！
3. 土地利用ゾーニング（市案）をベースに意見交換を行おう！
4. 各グループでの議論の内容を聞いてみよう！
5. 閉会

第2回のワークショップで出された意見等への対応について！

※駐車場ゾーン、交流広場、進入路、緑道・街路樹等に関する意見及び野口の郷に関する意見への対応について、市から説明を行いました。また、AJU から雨水対策やぶどう畑内の緑道の整備について説明を行いました。

前回の意見等	意見への対応（市の考え方）
①野口の郷の移設理由（必要性）	（長寿介護課より回答）
②野口の郷の導入機能	（長寿介護課より回答）
③野口の郷、ワイナリーの位置	（長寿介護課より回答）
④駐車場ゾーンの見直し 1. 駐車場必要台数の確保 2. 市道神尾前線北側の駐車場設置 3. 福祉の郷職員駐車場部分の利用	1. 広場、野口の郷、ワイナリーの東側に約 100 台分の駐車場を配置。ワイナリー利用者については周辺駐車場の利用を想定していますが、一部その利用も考慮し、現状より余裕を持たせた台数設定としています。 2. 当面駐車場整備は行いませんが、必要性がある場合には、担当課と調整を進めます。 3. 将来的にも福祉の郷の職員駐車場としての利用を考えています。
⑤交流広場内の整備（直売所、売店、BBQ、足湯、コンビニ等）	管理上や法令（開発許可）上の問題等から、建物の整備は困難となるので、基本的には子どもや地域の人が集えるオープンスペースとして整備していきます。ただし、雨水対策上必要となる調整池のピオトープ活用については、検討を進めます。足湯については、野口の郷の方で検討していきます。
⑥進入路の整備 1. 東側進入路の勾配 2. 南側進入路の道路拡幅 3. 歩行者の安全確保（歩道設置）	1. 法令で決められた勾配内としています。 2. 南側集落地内への不要な交通を抑制するため、拡幅は行いません。（福祉の郷への自動車アクセスは既存の外周道路の利用を基本とする。）
⑦緑道、街路樹の整備 1. 市道神尾前線の街路樹整備 2. 福祉の郷外周道路の植栽整備 3. 緑道整備（ぶどう畑、大洞池外周）	1. 用地買収が可能ならば市道神尾前線南側での歩道設置をします。 2. 低木植栽や草花、地被類等の植栽について担当課と調整を進めます。 3. ぶどう畑を展開する予定のAJUに人が歩ける道の確保を働きかけていきます。大洞池周辺については、歩きやすい道に化粧直し等を行います。
⑧雨水対策	調整池の設置をはじめ、適切な対応を図ります。

土地利用ゾーニング（市案）をベースに意見交換を行おう！

※A～E グループに別れて、市案をベースにしなが、変更点や追加事項等を整理（絵に落とし込み）し、各グループでの最終案をとりまとめました。

各グループでの議論の内容を聞いてみよう！

※各グループの代表者の方から、議論の結果を発表していただきました。

◎A グループ



池の西側の道路は現在車が入れる道路ですので、歩行者が通れるよう上手に整備してほしいと思います。また、池の東側の橋を利用してぶどう畑との一体感を創出してはどうかという意見が出ました。

野口の郷については、平屋にして二階部分を駐車場にするという意見が出ました。外観については上手く市の方で考えていただきたいと思います。

ロータリーについてですが、ワイナリーのものなのか野口の郷のものなのかどちらでしょうか。ここは高低差がありますので、この位置だと野口の郷に行くのに高低差があって、大変かと思います。

また、ぶどう畑の植栽部分を利用してグランドゴルフ場を作るという意見が出ました。

◎B グループ



駐車場は、大雨になった時雨水を溜めるのに利用できるのか、そのために十分な高低差があるのかという議論がありました。

野口の郷と駐車場の位置については、野口の郷を東西に長い形にして南北の並びにすれば、陽当たりがいいのではないかという意見が出ました。交流広場やワイナリーと分断されるという懸念がありますが、雨水を溜めるにはいいのではないのでしょうか。

道路勾配は8%以下という説明でしたが、かなりきついのではないのでしょうか。基準を満たしているからいいというのではなく、歩いてくる時危険ではないかと思うので、そういう人のことも考えて少しでもゆるい勾配の道路にした方がいいと思います。

野口の郷については、ゆったりとしたゆとりのある施設としてほしいという意見が出ました。また、利用者を増やすために、若者が使えたり、日用品も買えるようにしたらいいのではないのでしょうか。

◎C グループ



現在、野口の郷に行かなくなった人が多くいます。そんな中、他地区から来ている人は、景色がいいから来るという人が多いです。新しい位置では、景色が悪いと思います。子どもと一緒にという意見が出ましたが、老人会としては落ち着いたところだという意見が多いです。また、二階についてはいらないという意見が出ました。小針の郷もありますし、現在の位置で新築する場合と移転する場合でどれくらい差があるのでしょうか。

野口の郷とワイナリーの位置を逆にすると、景観が悪くなるという話に加えて、防災の点から不安があるので位置は逆にしないでほしいという意見が出ました。低いところに避難するのはどうかと思います。他に池と行き来できるようにするという意見が出ました。また景観と安全面、子どもとの利用についても意見が出ました。

◎D グループ



配置としては、概ねいいのではないのでしょうか。しかし、ワイナリーとぶどう畑が離れているがいいのか、という意見が出ました。

野口の郷については、小針の郷の様に各室を「口の字」型にレイアウトすると安全面でいいのではないかと思います。小針の郷を参考にしてもどうでしょうか。また、機能としては同程度の物を入れていただきたいと思います。

安全面から、池の周囲をフェンスで囲うという意見や街灯を適材適所配置するという意見が出ました。また観賞用の池についてはカモを離し飼いにするという意見が出ました。他に交流広場に子ども遊具を設置したり朝市をやってはどうかという意見が出ました。

◎E グループ



野口の郷を下ろすことについての議論がありました。

ぶどう畑の農薬の散布などで困ることがありますので、消毒は食用のぶどうの2/3程度だと聞きましたが、配慮するべきかと思います。またカラスやどろぼうの問題もありますので、ネット等で対策していただけたらと思います。また、農薬のことを考えたら、ワイナリーと野口の郷の位置は逆にして野口の郷を離れたところにした方がいいという意見が出ました。

野口の郷については、利用者のことを考えて作ってほしいという意見が出ました。小針の郷のように、足湯があってもただ外にあるだけではダメだと思います。

ワイナリーの駐車場について現在ふれられていません。ワイナリーの中で必要かと思いますが、市と協力して考えていかないといけないと思います。

また、年間多くの方が利用する施設ですので、し尿処理をどうするのか、計画が決まる前にきちんと話し合っしてほしいと思います。ビオトープを利用して窒素処理を行うという意見も出ました。

その他に、南側の交通量を減らすような工夫について議論しました。

11月17日 先進地視察を行いました！

スケジュール

1. 開発候補地
2. 野口の郷
3. レインボープラザ（春日井市）
4. 修道院及びびぶどう畑（多治見市）
5. 長久手町福祉の家及びあぐりん村（長久手町）
6. 小針の郷（小牧市）

2. 野口の郷



2. 野口の郷



3. レインボープラザ



3. レインボープラザ



4. 修道院及びびぶどう畑



4. 修道院及びびぶどう畑



5. 長久手町福祉の家



5. 長久手町福祉の家



5. あぐりん村



6. 小針の郷



6. 小針の郷



6. 小針の郷



先進地視察時に実施した野口の郷導入機能に係るアンケート調査の結果（要約版）

1. 先進地視察を踏まえ、こういう部屋があるとよいと思うもの。

- ・トレーニング室（フィットネスルーム、小学生でも利用できるジム）、卓球室、マッサージルーム
- ・映写室、カラオケだけでなくDVDでいいのでシアターみたいな部屋で懐かしい映画の上映
- ・研修室、会議室、イス室で講演を聞く部屋の設置
- ・創作室、調理室、工房、カルチャー教室、パソコンルーム（多目的ルーム、ネットワーク環境含む）
- ・足湯、内容の充実した売店、農家の産直（産地直売）店

2. 先進地視察を踏まえ、こういう機能（備品）があるとよいと思うもの。

- ・トレーニングジム機、・フィットネスマシーン、運動器材の充実、マッサージ機
- ・図書館の充実、市立図書館と連携し時々図書の入替えができると良い。
- ・トイレの洗面所は自動水洗が便利だと思う。トイレのドアも外開きがよい。ウォシュレットトイレ。
- ・エレベーターをつける。バリアフリーとする
- ・床暖房 ・植樹が不足。中庭がタイルであるが、センリユウ等を植える。

3. 自由意見

- ・男性風呂を見たが少々狭いように感じた。どのくらいの方が利用されているのか？
- ・野口の郷の風呂、浴槽が狭い。視界が悪い。風呂を大きく。
- ・野口の郷の図書館の本の入替えは定期的にやっているのか？
- ・図書室を今少し広めに。 ・床はすべて木製。
- ・カラオケは大広間ではもったいないのでルームにするとよい。
- ・全体にもう少しゆったりしたスペースをとる。（フロアも天井も）
- ・建物全体に天井が低い。 ・天井を高く、部屋を大きくする。
- ・高齢者、身障者の負担軽減も良いと思う。
- ・春日井レインボープラザを見て、利用者負担を支払っても良いと思う。
- ・若い世代と交流したり、若い人の声が聞こえるよう、若い世代も施設が利用できる工夫が必要では。
- ・ルールを決めて、多くの人に利用してもらうよう一般開放する。
- ・子供から老人まで幅広く利用できる施設を設ける。
- ・誰でも利用できれば3世代交流ができると思うので、利用制限しない方がよい。
- ・市職員も駐在すること。
- ・新しい施設はそれなりに改善が工夫されてよかった。特に自然採光が多く取られている。
- ・春日井市レインボープラザは良かった。野口の郷もレインボープラザの様であれば良い。
- ・レインボープラザ・長久手町福祉の家の様に、一ヶ所に色々な施設があると良い。あぐりん村の産直は、地元の方の直売というところがいいですね。どの施設もゆったりしている。
- ・外部（他市他町）を見れば素晴らしい。早くに出来たので他との差は仕方ないが、少しは近づけるようにしてほしい。
- ・野口の郷には足りない箇所があった。敷地面積、設備、建物等細かい心づかいが必要かと思う。

次回開催予定

日 時：平成24年1月8日（日）

午後7時～

場 所：野口会館

（問い合わせ先・発行）

小牧市環境交通部廃棄物対策課

0568-76-1187

e-mail:haitai@city.komaki.lg.jp

環境センター周辺開発ワークショップ

第4回報告書

今回のテーマ

平成 24 年 1 月 8 日(日) 19:00~21:00
開催場所：野口会館 2 階大会議室 19 名出席

～土地利用ゾーニング（配置）案をまとめよう！～

1. あいさつ等
2. 福祉ゾーン（市有地・北側農地ゾーン）の土地利用ゾーニング（配置）について！
3. 福祉ゾーン周辺の土地利用ゾーニング案を検討しよう！
4. 各グループでの議論の内容を聞いてみよう！
5. 閉会

第3回のワークショップで出された意見等への対応について！

※野口の郷・ワイナリーの位置や野口の郷の導入機能、交流広場や進入路の整備等に関する意見への対応について、市から説明を行いました。また、AJU からぶどう畑の消毒や排水・し尿処理対策について説明がありました。その後、これまでの検討を踏まえた野口の郷及びワイナリーの配置案（市案）について、説明を行いました。

第3回ワークショップ（WS）での意見等	意見への対応（市の考え方）
①野口の郷、ワイナリーの位置 B班、C班、E班	（長寿介護課より回答）
②野口の郷の導入機能 B班、C班、D班、E班	（長寿介護課より回答）
③駐車場の配置 A班、B班、E班	（長寿介護課より回答）
④進入路の勾配 B班	<input type="checkbox"/> 道路の構造上これ以外の道路線形は困難です。
⑤市道神尾前線へのアクセス E班	<input type="checkbox"/> 道路の勾配、ワイナリーの景観等の問題があり、アクセス道の整備は困難です。車両は福祉の郷の外周道路を利用させていただくよう配慮して整備します。
⑥歩行者、自転車のアクセス道の整備 B班	<input type="checkbox"/> 南側の進入路を想定しています。西側からの進入路の整備は高低差がありますので困難です。
⑦交流広場内の整備（子供の遊び場、親水の場、朝市） C班、D班	<input type="checkbox"/> 交流スペースとして必要な機能を整備します。
⑧大洞池の外周道路の整備 A班、D班	<input type="checkbox"/> 安全面に配慮し、遊歩道を整備します。
⑨大洞池とぶどう畑のアクセス用の橋 A班	<input type="checkbox"/> 既存の橋の利用が可能かどうか協議していきます。
⑩桜並木の保存 C班	<input type="checkbox"/> 近隣者の意見も考慮し、判断していきます。
⑪巡回バスルートの検討 B班	<input type="checkbox"/> 地元要望を踏まえ、総合的に判断していきます。
⑫ぶどう畑内にグランドゴルフ整備 A班	<input type="checkbox"/> 運動施設として、野口の郷跡地で検討します。
⑬ぶどう畑の消毒排水、周辺への配慮 E班	<input type="checkbox"/> （AJUより回答）
⑭ワイナリーの排水、し尿処理 E班	<input type="checkbox"/> （AJUより回答）

土地利用ゾーニング案（イメージ図）



野口の郷・ワイナリー配置案（市案）に対する質疑応答・ご意見について

※市から説明した野口の郷及びワイナリーの配置案（市案）に対して、参加者の方々から、数多くのご意見をいただきました。その結果、当初予定していた福祉ゾーン周辺のワークショップに進むことができませんでした。

参加された方々には、誠に申し訳ありませんでした。次回、本日いただいた意見に対して再度市の考え方をご説明させていただくこととしました。

※以下に、当日いただいた数多くの質問やご意見のうち、主なものを紹介させていただきます。

◎質疑応答及びいただいたご意見

【質問】 駐車場ゾーンが1箇所に変更になっているがこれで100台分確保できるのか。また、子どもをはじめ自転車でアクセスが考えられるが、現在の道路計画は、自転車と自動車の通行するところは分離されるのか、一緒になるのか。駐輪場については、どのように考えているか。

【答え】 駐車場については、今回のゾーニング図では100台分の確保は無理と考えており、整備手法を考えた上で100台分を確保できなければ、周辺を含め検討していきます。また、安全上支障のないように、自動車と自転車・歩行者を分離するような方向で考えていきます。駐輪場については、今後検討していきます。(市)

【質問】 前回と今回のゾーニング図が異なっている。なぜ、前回の絵から大きく変わったのか、整合性をきちんと説明してもらわないとワークショップを開催している意味がなくなってしまう。

【答え】 北側に野口の郷を配置した場合、様々な支障が生じることが分かりました。前は検討不足の中で提示してしまったため、今日改めさせていただいたものです。(市)

【質問】 野口の郷は老人主体でなく、老若男女が来れる場にしてほしい。また、この地区をいくつかのゾーンに分けて総合公園的な開発をしてほしいと要望し続けており、これまで3回もワークショップをしてきたのに全くワークショップの意見が反映されていないのではないか。

【答え】 環境センターの周辺区域のゾーン分けについては、この後のワークショップで他のゾーンの内容について議論していきたいと考えています。要望はこの場所だけでなく環境センター周辺の中で考えていきます。また野口の郷の内容についても、地元から出ている要望をできる限り反映した機能を入れていきたいと考えています。(市)

【質問】 北側をぶどう畑にする場合、既存の樹木をどのように処理するのか。重機等を入れて、造成するのか。

【答え】 重機は使わない予定です。柵で囲い、黒ブタを放し飼いにし、樹木の根等を食べてもらうつもりでいます。その後自然に朽ちていくのを待って、畑にしていきたいと考えています。(AJU)

【質問】 ワイナリーは約17万人の集客を見込んでいるとのことだが、その根拠を教えてください。

【答え】 大手建設会社が用いている推計方法を使い、推計した結果です。この地区の周辺には様々な観光資源があり、旅行会社とタイアップすることや、愛知県初のワイナリーという話題性があれば、15万人は見込めると考えています。(AJU)



【意見】なぜ、あえて市有地をぶどう畑にする必要があるのか。その分、当初の絵にあった交流広場ゾーンの規模が減ってしまっているのではないかと。駐車場の規模も減少している。ぶどう畑ゾーンの再考をお願いしたい。

【意見】高低差の問題で下へ降ろすことを理解したとして、広場なら段差があっても問題はないのではないかと。

【意見】位置の問題よりも交流広場が狭くなったことが問題なのではないかと。

【質問】今日のワークショップの結論としては、前回の図面に戻るとということか。

【答え】現時点では、野口の郷は下に降ろし、地元要望に答えるよう機能追加をしていくことを考えているのでご理解いただきたいと説明しました。これに対し、交流広場に戻して欲しいという意見があったので、一度持ち帰り次回改めて回答させていただきます。（市）

【意見】時間がかかっても地元要望に応えられるよう検討してもらい、次回仕切り直して欲しい。



次回開催予定

日 時：平成 24 年 1 月 29 日（日）

午後 7 時～

場 所：野口会館

（問い合わせ先・発行）

小牧市環境交通部廃棄物対策課

0568-76-1187

e-mail:haitai@city.komaki.lg.jp

環境センター周辺開発ワークショップ

第5回報告書

平成 24 年 1 月 29 日(日) 19:00~20:45
 開催場所：野口会館 18 名出席

今回のテーマ

～土地利用ゾーニング（配置）案をまとめよう！～

1. あいさつ等
2. 福祉ゾーン（市有地・北側農地ゾーン）の土地利用ゾーニング（配置）について！
3. 他の要望事項の土地利用ゾーニング案を検討しよう！
4. 各グループでの議論の内容を聞いてみよう！
5. 閉会

あいさつ等



ワークショップにご理解をいただき、寒い中参加していただきありがとうございます。前回ワークショップでは、第3回と大きく変更したものをご提示し、ご迷惑おかけし、大変申し訳ありません。ゾーニングは開発の第一となるものであり、皆様のご意見をいただきよりよいものとしていきたいと考えております。【柴田部長】

福祉ゾーン（市有地・北側の内ゾーン）の 土地利用ゾーニング（配置）について！

野口の郷の導入機能に対する考え方

全般	建物は2階建てで、ストレッチャーが入るEVの設置やバリアフリーを計画しています。小針の郷以上の機能を導入し、地元の方の要望である3世代交流が可能な多目的スペースやリラックスできる休養室等の設置を検討したいと思います。より具体的な機能については、基本構想時に再びワークショップをお願いし、決定していきたいと考えています。
フィットネス、トレーニング室	老人福祉センターが高齢者の施設ということから逸脱できませんが、若い人にも魅力ある機能の導入を検討します。
物販	食堂内に販売コーナーという形で老人福祉センターの利用者が必要なものの販売店を設置するよう検討します。
子どもと高齢者の交流	多目的交流スペースを作ります。
風呂、足湯	現在の野口の郷より大きなお風呂とし、足湯は一般の方でも使える場所への設置を検討します。
街路灯の設置	防犯対策に必要な街路灯は設置します。
その他施設内容	景観や防災対策に配慮し、利用しやすい施設内容となるようデザインや導入機能を検討します。農家の産直店は、施設前広場で農家の産直店として朝市を実施することも一つの案として検討します。



※野口の郷及びワイナリーの位置、野口の郷の導入機能、駐車場の配置について市から説明を行いました。憩いの公園ゾーンにつきましては、現在の起伏をそのまま活かしながら、ぶどう畑の中に誰でも憩える広場的な整備をしていきます。子どもが自然に触れ合える芝生広場の一角にビオトープを配置し、起伏の激しいところは、その地形を活かし、ぶどう畑を配置し、誰もがぶどう畑で集えるような広場を市とAJUが共同して整備していきます。

◎質疑応答及びいただいたご意見

【質問】小針の郷の利用者は移設は考えられないと言っている。現在の野口の郷の場所で立て替えてほしい。小針の郷は一般の利用者がいたりして、落ち着けないが、野口の郷は落ち着ける。第3回では多少高いところにあったが、また低いところに配置してある。2階建にして眺めを確保するのではなく、現在の場所での建て替えを検討してほしい。

【答え】現在の野口の郷が出来て、30数年経過し今後建て替えの問題が生じます。もし今の場所で立て替える場合、休業しなければいけなくなります。小針の郷も年間8万人が利用しており、その間の利用者を受け入れることが難しい状況ですので、使えない期間を無くす方が望ましいと考え、移設をお願いします。(市)

【質問】私は野口の郷を下に降ろす話は聞いていなかった。市長の話だと、ワイナリーと野口の郷の建て替えは別だということで、別ならまだ位置を検討する余地があると考えていたが、この話を聞くとこれで決定とを感じる。2階建にして眺望を確保するということだが、高齢者が2階にあがるのは大変である。また、下に降ろして傾斜のきついところで開発するのは大変ではないか。もう少し意見を聞きながら検討してほしい。

【答え】野口の郷の移設につきましては、平成23年5月に要望事項への回答書にて回答をさせていただいており、野口地区の方と協定書を取り交わしています。それに従い検討を進めさせていただいております。本WSで、皆様からイメージ図（案）の憩いの公園部分に野口の郷を移設してはどうかという意見をいただき、第3回ではそのような図面を出させていただきましたが、様々な問題がありましたので、現在のような形に再度提案させていただいております。眺望については、新野口の郷の基本設計に入る際にWSを開催し、その中でどのようなことが出来るか内部機能含めてご意見をいただければと思います。2階建につきましては、EVを設置しご不便をかけない形にしたいと思いますのでご理解願います。（市）

【質問】この開発は、野口の方が優先なのかワイナリーが優先なのか。ワークショップは単なる建前なのか。また、子どもの事に関してはあまり検討に出てこないようだが、子供が安心して遊べるものについてはどこまで考えているのか。

【答え】ワイナリーの誘致につきましては、平成23年5月に同じく回答させていただいております。当然野口地区の住民の皆様のために、ワイナリーと各施設が協力し合って1つのものにしていきたいと考えております。新野口の郷の誘致につきましては、先ほど申し上げました通り、後日お話をお聞かせ願いたいと思います。子どもについては、子ども自然広場を考えておりますが、詳しい機能については、ゾーニングが終わってからご意見をお聞かせいただきたいと思います。（市）

他の要望事項の土地利用ゾーニング案を検討しよう！

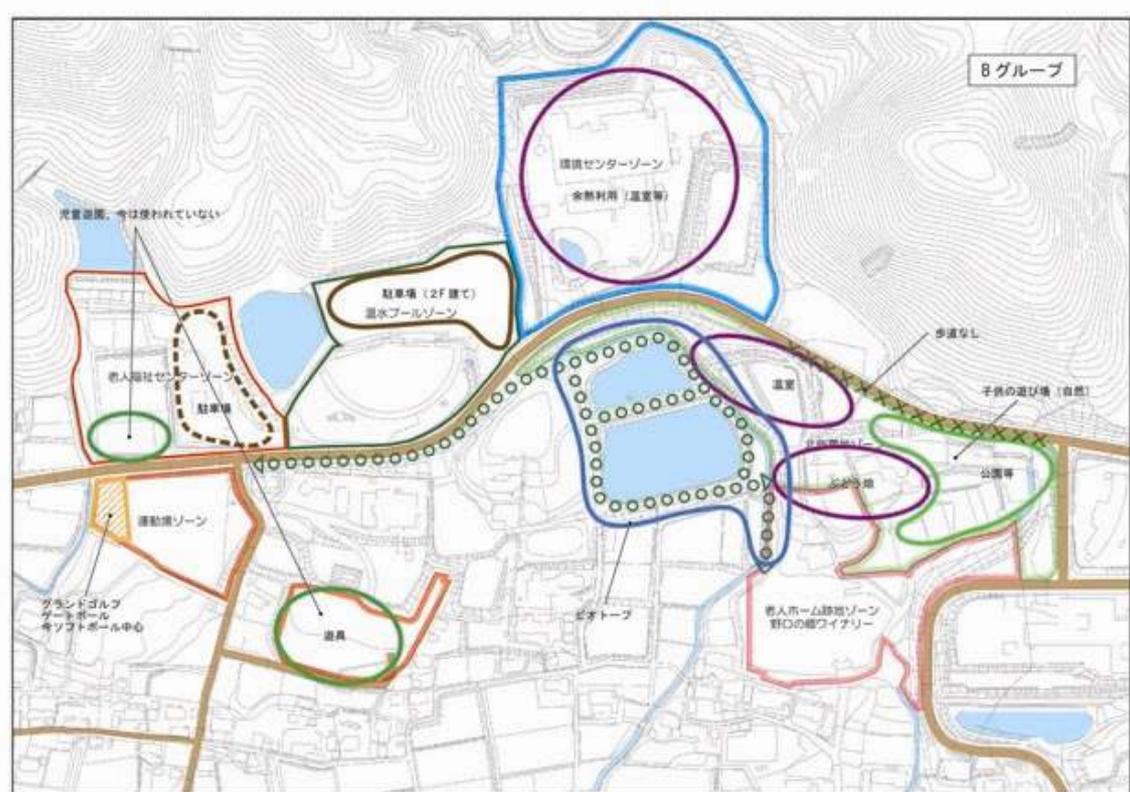
【市より説明】「スポーツ施設」につきましては、要望事項の回答書での回答等に基づき、現在の野口の郷が移転した跡地付近を整備する形で、WSの中で具体的なスポーツ施設の内容をご意見いただき、スポーツ施設の配置を考えていきたいと考えております。「ため池の利活用」と「温室、水耕栽培の整備」については、まだなかなかイメージができないというご意見を聞いておりので、今回ご意見があればお伺いしますが、その整備方法につきましては、今回の基本構想の段階でなく、もう少し全体計画がまとまってきた時点で改めてお地元とご協議させていただければと考えております。

※A～Cグループに別れて、野口の郷跡地の利活用、スポーツ施設の整備、ため池（大洞池）の利活用、温室・水耕栽培の整備について検討しました。

◎Bグループ



まず野口の郷の跡地利用と全体についてですが、遊歩道的に周辺施設へ歩いていけるように川へ橋をかけ、それぞれを繋がないと地域が活かないのではないのでしょうか。この地域は歩きたいという目的で来る人が多くいます。そういう人のためには、駐車場と歩道が必要なので、駐車場と歩道を確保してほしいという意見がでました。野口の郷の跡地利用については、現在の子供が遊べる場所が整備されていますが、地元の子供が遊びに行くには危険で、プール利用者が利用するぐらいです。子供が遊べる場所を集落の近い方へ設置してほしいという意見がでました。また、現在の温水プールの空き地を駐車場として利用した方が効率的ではないかという意見がでました。温室水耕栽培の整備については→環境センターの排熱利用を考えて福祉センターの奥に作ってはどうでしょうか。また、現在の土地利用ゾーニング案にビオトープがありますが、自然を活かしたものを考えてほしいと思います。運動場については、ゲートボール・グランドゴルフ場を拡張して整備できないかという意見がでました。



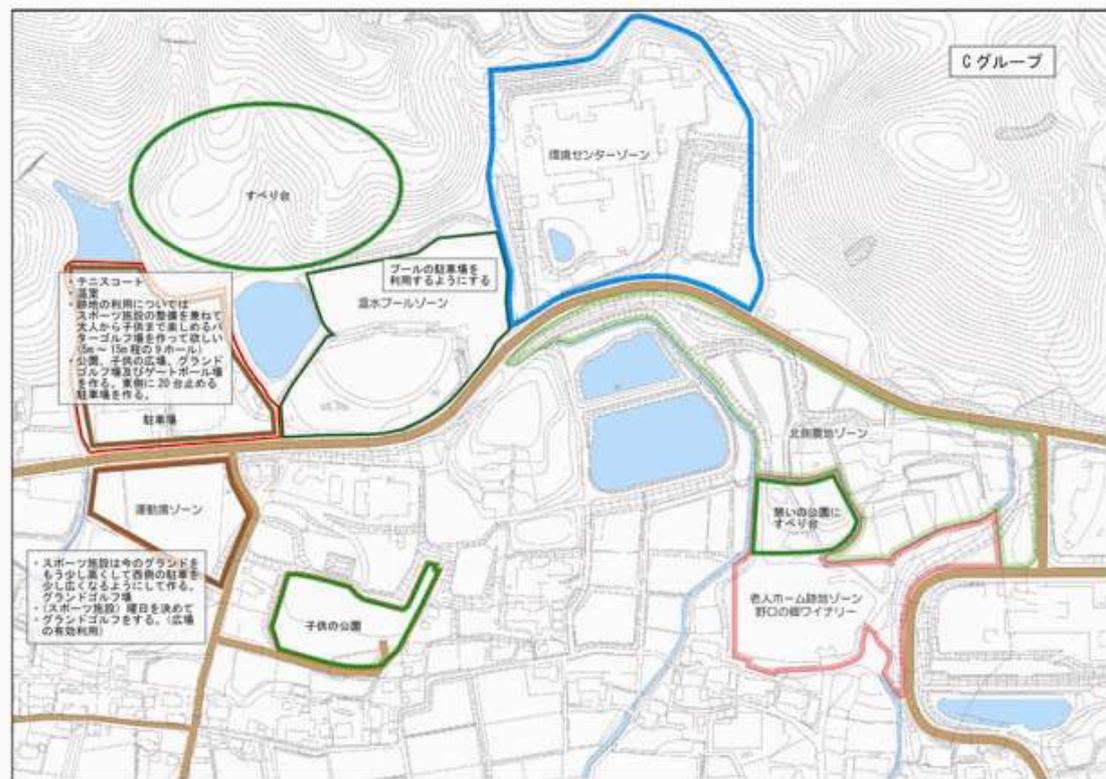
◎Cグループ



現在、運動場として使われている部分を、スポーツ施設として、グラウンドゴルフ場の整備やサッカー、バスケなど出来るよう少し拡張して整備してもらいたいという意見がでました。野口の郷跡地の北側の山の斜面や、福祉ゾーンの憩いの公園の傾斜を利用して、大きなすべり台を作るのもいいと思います。

また、今駐車場となっている運動場南東の敷地を、公園として使い、駐車場は施設のそばに広げてほしいという意見が出ました。福祉ゾーン北側の歩道の位置については、歩く人の安全を考えて道の両方に作って欲しいと思います。ぶどう畑側は遊歩道、道路の北側は道路に沿った歩道にするという意見がでました。

野口の郷跡地についても、テニスコートやグラウンドゴルフが出来る様な整備をしてはどうかという意見が出ました。また、Cグループでは野口の郷の移設が納得できていない部分があり、スポーツ施設を作るということであれば、野口の郷を移設する間、代わりにするようなスポーツ施設を入れて利用してもらおうということ出来ないでしょうか。



次回開催予定

日時：平成24年2月19日（日）

午後7時～

場所：野口会館

（問い合わせ先・発行）

小牧市環境交通部廃棄物対策課

0568-76-1187

e-mail: haitai@city.komaki.lg.jp

環境センター周辺開発ワークショップ

第6回報告書

平成 24 年 2 月 19 日(日) 19:00~20:40
開催場所：野口会館 18名出席

今回のテーマ

～環境センター周辺開発基本構想（案）について！～

1. あいさつ等
2. 第5回WS意見に対する市の考え方について！
3. 環境センター周辺開発基本構想(案)について！
4. 閉会

あいさつ等



本日第6回目のWSです。今まで5回すすめてきましたが、いろいろご意見を頂いています。野口の郷を旧老人ホーム跡地におろしてくるという件については、昨年6月の協定書を交わした時に決まっております、それを踏まえていただいて、区民の為になる開発になる質問等をお願い致します。【松浦区長】

第5回WS意見に対する市の考え方について！

◎運動施設

温水プールの駐車場が夏場不足している状況なので、温水プールの駐車場を確保しつつ、敷地が確保できれば、グランドゴルフ、テニスコート、フットサルについて今後検討していきます。施設の利用については地元が利用しやすいように考えていきます。(体育課)

◎その他の施設

市道神尾前線からぶどう畑への動線を確保し、ぶどう畑内を散策できるよう遊歩道をAJUと共同して整備していきます。また、歩行者の安全を確保するため、市道神尾前線に横断歩道を設置できるよう公安委員会と協議していきます。

交流広場はできるだけ広くなるように配置していきますが、限られたスペースの中ですので交流広場内に子どもの遊具などを配置できない場合は、その周辺などを有効に利用しながら配置していきます。

温室、ピオトープについては、今回の基本構想の中でなく、もう少し全体計画がまとまってきた段階で地元の意向を確認しながら整備方法を協議していきます。(廃棄物対策課)

◎質疑応答及びいただいたご意見

【質問】野口の郷の北側が憩いの公園となっているが、ぶどう畑にするということか？

【答え】ぶどう畑を併設した、誰でも集えるものを考えています。具体的な計画はまだ決まっていますが、バーベキューサイト、ピオトープ、子どもの遊び場などを配置しながら皆さんに集っていただける場になるようを考えています。(市)

【質問】この案で決定なのか。

【答え】区長のあいさつにもありましたが、野口の郷の移設については6月20日付で小牧市長、岩倉市長、小牧岩倉衛生組合管理者、区長、対策委員長により調印したもので、この案でお願いします。位置についても北側に配置するのは困難なのでこれをお願いします。(市)

【質問】地元との取り決めと言われるが、情報公開がないと思う。情報公開をお願いします。

【答え】協定書の調印に当たっては、区会を開いて説明させて頂いております。欠席者には回覧していただきました。ワークショップの内容についても皆様に逐一報告しております。区の方には後日役員会を開いてお話していただけると聞いています。(市)

【質問】老人会の方がこの会に参加したいと言ったら、ダメと言われたと聞いた。密室で決めるのはよくない。私は、老人会に対して納得できるよう説明しないといけないが、皆が納得いくような説明ができない。以前の図面では少しでも眺望がいいように野口の郷が高い位置に配置してあったが、結局低い場所になっている。駐車場も狭くなっているが、これでうまくいくのか。

【答え】駐車場・景観については、今後野口の郷を具体的にどうしていくかというWSを開き、意見をいただいて進めたいと考えています。(市)

【質問】野口の郷の移設は、焼却場の移設に絡む周辺開発のWSとは別ではないか。このWSでやるのは筋違いではないか。

【答え】野口の郷を建設した経緯としましては、当初この野口地区に焼却施設を作る際に、地元から周辺開発として設置して欲しいという要望を受けて設置したものです。移設についても、今回の更新に当たり地元要望を受けて行うもので、要望書に地元の意見を聞いて開発を進めるという要望がありましたので、WSを開催し、要望事項踏まえて皆様の意見をうかがっているところです。(市)

【質問】横断歩道は歩道橋なのか、横断歩道なのか。場所はここなのか。

【答え】横断歩道は、公安との調整になりますので、まだ構造は決まっています。個人的には平面かと思いますが、最終的には公安との協議により決定します。場所については、ここが一番可能性が高いと考えています。(市)



環境センター周辺開発基本構想（案）について！

【土地利用ゾーニング】

- 環境センター周辺地域を「環境センターゾーン」「市有地及び北側農地ゾーン」「温水プールゾーン」「老人福祉センターゾーン」「運動場ゾーン」の5つの区域に区分けします。
- 「市有地及び北側農地ゾーン」については、早期に開発着手して欲しいという地元からの意向を踏まえ、具体的な導入機能と施設配置のあり方を定めます。他の区域については、この開発がある程度進んだ段階で具体的に検討することとし、土地利用の基本的な考え方を定めます。



【市有地及び北側農地ゾーン】

- 隣接する「福祉の郷」の様々な福祉施設との連携を図りながら、さらなる福祉機能の充実を図るため、老朽化が目立つ現在の小牧市第1 老人福祉センター野口の郷を老人ホーム跡地に移設します。
- 地域の高齢者や福祉施設利用者のいきいきとした暮らしを支えるため、知的障がい者の就労を支援する場ともなるワイナリー及びぶどう畑の誘致を進め、市外からも多くの人を訪れる交流・にぎわいの場の形成にも寄与していきます。
- 野口の郷とワイナリーを中心とした福祉施設の集合体を整備していきます。

【施設の配置について】

- 地形的な制約条件や法規制状況から、市有地ゾーン北側に野口の郷を配置することは困難です。
- 野口の郷は、市有地ゾーン南側の老人ホーム跡地部分で、広い眺望が得られるワイナリーの南側に配置します。ワイナリーとの一体感・統一感を生み出すため、両施設は一体的に配置します。
- 野口の郷及びワイナリーへの新たなアクセス道路東側に、駐車場を配置します。

【その他のゾーン】

- 老朽化に伴う必要な改修を進め、誰もが使いやすい施設としていきます。【温水プールゾーン】
- 児童遊園等のあり方を含め、多様な世代の人たちが元気にいきいきと暮らせるような、健康増進・健康づくりの場、スポーツ活動や余暇活動の場の形成について検討していきます。
- 温水プール駐車場、温室、水耕栽培施設の整備の可能性を検討していきます。【老人福祉センターゾーン】
- 近接する温水プール駐車場を含め、スポーツ活動の場としての機能拡充や、子どもたちの遊び場の確保について検討していきます。【運動場ゾーン】
- 周辺環境との調和を図り、周辺植生にも配慮しながら、施設の更新整備を進めます。【環境センターゾーン】



◎質疑応答及びいただいたご意見

【質問】憩いの公園にぶどう畑と色々なものを配置するのは難しいのでは？

【回答】ぶどうだけを植えるという考えはありません。具体的な整備方法は来年度に市と協議してから決定したいと思いますが、収穫のためのぶどうを植えるのではなく植栽的なぶどう畑を区画を区切って整備し、食べられるぶどうを植え、皆様に中に入ってもらえるようにしていきたいと考えています。(AJU)

【質問】スケジュールについてだが、遊歩道はH31年から使用できるということか？

【回答】ぶどう畑と並行して整備を進め、野口の郷完成時には遊歩道も完成したいと考えています。(市)

【質問】スポーツ施設の整備がH29～31年となっているが、スポーツ施設はH31年まで造成工事を行い、H32年から建設工事に入り、H33年から使用できるということか？

【回答】野口の郷が移設してから整備を行うのでH31年の造成工事が終わってからの整備となります。施設としては、テニスコート・グランドゴルフ場、フットサル等考えており、特に建築工事の必要はありませんので、予定ではH32年度から利用できるのではと考えています。(市)

【質問】温水プールの第三駐車場が運動場ゾーンに変わっているが、駐車場と運動場、どちらが優先されるのか？

【回答】温水プールの駐車場は、プールまで距離があるということで、使い勝手が悪く、普段は使われていない状況です。また、ワークショップの意見として集落に近いこの場所で整備してはというご意見もありましたので、老人福祉センターゾーン等で駐車場を別に確保し、ここは運動場ゾーンとして活用していくことも含めて考えていきます。(市)

【質問】フットサル場とか、スポーツ施設には必要な面積があり、土地が必要となる。必要面積を踏まえた構想なのか。

【回答】内容を検討するにも、まず位置を決める必要があるので、まず位置決めを行い、今後具体的内容を検討したいと思います。現時点では、面積までの検討できていません。(市)

【質問】野口の郷の工期をもっと早めてもらえないか。

【回答】どのような機能をいれるかをWSで決めていくこととなりますが、そのための計画期間が必要となります。基本設計、実施設計を行い、その後の造成工事・建築工事を考えると、どうしてもH30年の完成とならざるを得ないと考えています。(市)

【質問】イメージ図の緑の小さい円や緑の円などわかりづらい。凡例をつけてほしい。また、以前の図面では、野口の郷の付近に大型バスの待機所や現在の駐車場以外の場所に駐車場が描いてあったが、その話はなくなったのか。

【回答】そこまで詳しく描く必要がないのではという意見もありましたので、記載していませんが大型バスの考えがなくなったのではなく、以前書いた辺りで考えていきます。駐車場については、この場所で不足するようであれば、場所がどこになるかはわかりませんが、必要な駐車場は確保していきます。

凡例については、記載します。(市)

【質問】野口の郷を優先的に進められないか？

【回答】ワイナリーと一体的な建物として考えたいので、ワイナリーの整備と関連させながら整備していきたいと思います。(市)

【質問】砂防指定の検討は？ワイナリーと野口の郷と一体的に考えていくのか？

【回答】開発を進めるにあたって、砂防とか問題がでることは考えられますので、それを含めて一体的に計画していきます。(市)

【質問】野口の郷はこうしたいという具体案を出して欲しい。

【回答】H25年に地元の意見を聞くWSを開き、その中でどういう施設を作るか具体的に検討していきたいと考えています。(市)

【質問】野口の郷を、下に移設するという事に対して、どう説明するのか。

【回答】地元との約束を白紙にするという話を市からは出来ませんので、そういう話は地元で取りまとめていただき協議していくことになるかと思います。(市)

【質問】情報公開して説明出来るようにしてほしい。

【回答】WSについては結果をお見せできますし、資料提供もいたします。WS参加者の人選は市からの指名はしていませんので、地元でお願いしています。市としては、できるだけ幅広い方から意見を伺いたいと考えておりますので秘密会議にするつもりはありません。(市)



【質問】ワイナリーはH25年設計、H26年建築工事となっている。野口の郷と基本設計の時期がずれていてお互いが合わせられるのか。

【回答】ワイナリーはH25年の設計となっており、この時期にあわせて野口の郷のWSで計画を行うことで、関連出来るかと考えています。(市)

【質問】民間が一年間で設計出来るものを、なぜ市は何年もかかるのか。

【回答】WSを開催したり、老人クラブの意見を取り入れていく必要があると考えておりますのでこれくらいの時間がかかると考えています。(市)

ワイナリーは、H24年基本設計、H25年実施設計というスケジュールを考えています。(AJU)

【質問】新規のものではないので期間は短縮できるのでは？

【回答】WSの進捗状況によっては、もう少し早く可能かもしれませんが、今のところ十分な意見を頂く期間としてこの日程をあげています。(市)

閉会



基本的に今回お示した考え方で、地元の役員の方に見ていただき、今年度中に基本構想をまとめていきたいと思っております。来年度以降、個々の施設について協議する際にまた地元の意見を頂きたいと考えています。今年度は、ゾーニングということで、ここで一区切りつけたいと思っております。【市】

WSを開催していただきありがとうございます。我々もこの野口地区で受け入れられるように努力していきたいと思っております。基本構想に基づき、我々もやっていきたいと考えております。来年度ワイナリーの基本設計を行いまして、それがまとまった段階でまた皆さんに説明させていただき、見ていただきたいと考えております。北側の農地につきましては、地権者の皆さんの意見を聴きながらいいものにしていけたらと思っております。

【AJU 江戸常務】



長い間ご協議いただきありがとうございました。ゾーニングのWSはこれで終了し基本構想をまとめていきます。今後は具体的なことについてご意見をお伺いしていくこととなりますので、その時はよろしくお願ひします。【仲根廃棄物対策課長】

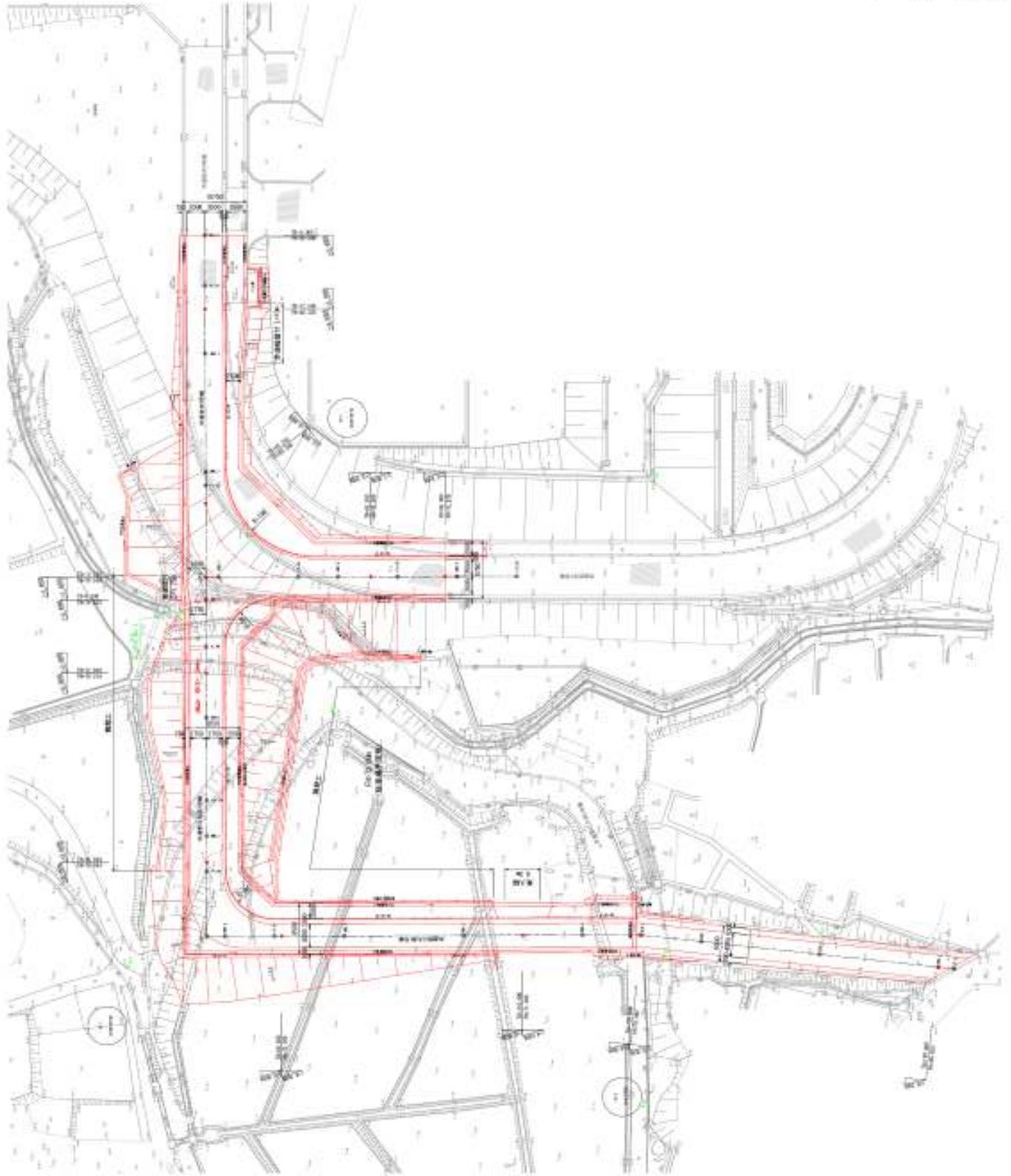
(問い合わせ先・発行)

小牧市環境交通部廃棄物対策課

0568-76-1187

e-mail:haitai@city.komaki.lg.jp

計圖平面圖



比例尺 1:500

工 程 名	新豐橋口大橋(二期)橋樑工程
所 屬 名	中港西九新豐橋口橋內
圖 紙 名 稱	平面圖
圖 紙 尺 寸	1:500
圖 紙 號 數	全 圖 01 內